

## ○バルマー氏の保育法の基礎

### としての發達の原理

同じ雜誌の十一月號に、表題の通りのバルマー氏の論文がある。元來「發達」といふことは簡單に考へれば、文字通り分つたことの様ですが、詳しく考へれば、種々複雑な論議を要することです。即ちベストロヂ、フレーベル以來の「發達に従ふ教育」といふ言葉も、其の「發達」といふことの研究の進むに従つて、次第に複雑な内容を有することになる。たゞ一片の通り言葉として漠然と發達に従ふといふて居たのでは、實は餘り役に立たないのである。併し、それ等の詳しい論は別として、茲にはバルマー氏の書いて居る要點だけを、特に保育に關係のあることだけ次に挙げます。

氏曰く、發達といふ問題は幼稚園に關係しては、次の五つの注意すべき點に分かたれる。

(一) 凡そ發達なるものは、其の發達體の、其の

時までの一切の經驗の推積をもと、して、其の上に出來てゆくものであるから、保育の第一着として、初めて幼稚園へ來た時の幼兒の現狀を明かにして置かねばならない。即ち各幼兒が幼稚園へ來ない前から持つて居る遺傳、及び其の時までの經驗の種類や分量等を明かにせねばならぬ。

(二) 入園後與へらるゝ新經驗の中には、入園前の舊經驗と同一のものもあれば、異なるものもあるであらうが、それ等の中から、兎に角幼兒の興味及能力に適合し且つ更に發達させてゆく様のもを撰擇しなければならぬ。

(三) 次には其の撰擇された諸經驗が、果してよく幼兒の發達力を増させ得る様に、最適切な與へ方をされなければならぬ。

(四) 尚ほ又その發達の結果が、かたより偏した發達でなくて、よく統一した、従つて充分圓滿のものであるといふことが肝要である。

(五) 最後に、以上のことを、常に吾々から幼兒

にしてやつて居る許りでなく、幼児自らをして、自分の發達性の意識を得、其の實現に適當なる方法を自ら撰擇し得る様に、即ち次第に自分で自分の發達をしてゆく様にならしめることを心がけなければならぬ。

バルマー氏は、尙之れについて詳しい説明を興へて居ますが、保育の實際上之等の簡條が如何なる事實を要求して居るかといふことは、大概御了解になつたことと思ふ。又既に御實行のことと思ひますが、之れ等の箇々の注意を、一つの「發達」といふ原理に統一して始終考へ居ることは、吾々の注意を一層明確ならしむるに効が少くないと思はれます。

小坊主が棒をひいても吉書城 (一茶)

書質の蜜柑みい〜吉書城 (同)

## 摘 録

### ● 幼稚園教育 高島平三郎氏

#### 幼稚園の効果

次には幼稚園の効果であります、先づ幼稚園は教育上効果があるといふ事を説く人の説を擧げて其次には害のあるといふことを説く人の説を擧げ最後に私の断案を御話して諸君の御意見を伺ひたいと思ひます。

幼稚園の利益を説く人は色々ありますが、亞米利加のスタンレー、ホールが三十人の信川すべき小學校の教師に幼稚園の効果に就て尋ねた結果を擧げませう、即ちホールは幼稚園から小學校に來た子供は一般の家庭から來た小供と如何なる違があるかに就て尋ねたのである、然るに其三十人の教師中で四人は幼稚園から來たものも家庭から來たものも同じであると答へましたが、其の外の二十六人は次の十ヶ條の長所を擧げて居ます、第一には言語が非常に優つて居る、即ち言葉が自由であつて現し方も巧妙である、第二は手が巧である、第三は敏捷である、第四は觀察力に富んで居る、第五は唱歌が上手である、第六は數の觀念が明かである、第七は仕事をすることを愛する、即ち何か自分で掃へたり動いたりすることを好む、第八は清潔である、家庭から直ぐに來たものは汚ない事も平氣であるが、幼稚園から來た子供は清潔を好む、第九は禮儀をよく知つて居る、第十は羞にかまない、といふのであります、それから獨逸のアイゼナツハンのヘアワルト